

| 講<br>座      | 専<br>門<br>科<br>目<br>2 |
|-------------|-----------------------|
| 日本・アジア言語文化論 | 各国語文献読解（日本文学選択）       |

問題 左にあげる資料は、薄田泣菫の詩の原稿である。これについて、後の問に答えなさい。なお、解答は解答用紙に縦書きで記入し、どの問に対する解答であるのかがはつきりわかるように、それぞれの解答の最初に問題番号を明記して下さい。



倉敷市・薄田泣菫文庫調査研究プロジェクトチーム編『薄田泣菫読本』（翰林書房、二〇一九年三月、八六〜九一頁）より

## 〈注〉

(1) 鳩 という字。  
 (2) 塵 という字。  
 (3) 瓮 という字。  
 (4) 恍 という字。  
 (5) 焚 という字。  
 (6) 甕 という字。  
 (7) 橘 という字。  
 (8) 鵲 という字。  
 (9) 矮 という字。  
 (10) 籬 という字。

(11) 膠 という字。  
 (12) 榎 という字。  
 (13) 棟 という字。  
 (14) 菩 という字。  
 (15) 諳 という字。  
 (16) 廻 という字。  
 (17) 鑄 という字。  
 (18) 緇 という字。  
 (19) 曳 という字。

問一 この資料の振り仮名も含めて全文を翻字しなさい。

## 〈注意事項〉

\* 改行箇所については、資料の通りにすること。

\* 漢字の旧字体は新字体に改めてもよい。

\* 資料にある修正箇所（紙を上から貼ったり欄外に書き込んだりして直している部分）は、修正後の形で書くこと。

問二 この詩に見られる特徴や技法について、できるだけ多く指摘し説明せよ。なお、説明には、次の言葉を必ず用いること。

時間の流れ

象徴詩

音数律

問三 この詩は何を言おうとしたものか。考えるところを書きなさい。

問四 この詩の書き手である薄田泣菫について、知っていることを書きなさい。

以上